

海外で事業を運営するうえで、進出する国や地域に存在するリスクとして、「内部環境リスク」というものがあると聞きました。インドネシアには、どのような内部環境リスクがあるのでしょうか。

「内部環境リスク」とは、原材料調達や生産、販売など主要業務に関するリスクや、総務、人事・労務、法務、経理・財務など組織運営に関するリスクを指します。「外部環境リスク」同様、「内部環境リスク」

## 中小企業 海外展開のツボ

も進出する国や地域によってさまざまです。ここではインドネシアに進出している中小企業が懸念する「内部環境リスク」を見てみましょう。

取引先の倒産や貸倒れは多くの中小企業が直面しているリスクの一つです。地場の企業との取引では、書面による契約が交わされない場合も多く、債権の未回収はそのまま利益損失につながることもあります。

## インドネシア 労務管理注意

SOMPOリスクアマネジメント ERM事業部 横山 歩氏  
上席コンサルタント

また、従業員によるストライキや労働組合問題など、労務管理上のリスクを指摘する声が多いこともインドネシアの特徴です。さらに、従業員による情報漏えいや横領・背任といったコンプライアンスに関するリスクも中小企業を悩ましています。労働環境を整備することはもちろん、従業員への教育・研修を積み重ねることで、少しずつ状況を改善し

ていく努力が必要です。

なお、製造業においては、以前と変わらず、工場の火災・爆発、設備・機械の故障や損傷といったリスクが挙げられます。インドネシア国内で機械を修理したり、部品を調達したりできる環境が整っていない場合は、一度このようなリスクが顕在化すると、長期的な休業を余儀なくされる可能性もあります。

中小企業にとって想定される  
インドネシアの主な内部環境リスク

### 主要業務に関するリスク

- 取引先の倒産、貸倒れ
- 工場の火災・爆発
- 設備・機械の故障・損傷
- 電気・ガス・水道の停止など

### 組織運営に関するリスク

- 情報漏えい、横領・背任、ストライキなど

2017年6月2日  
日経産業新聞